

We are challengers!!

未来の中井の学校に
ついてみんなで話そう!

子どもたちがチャレンジ

大人たちがチャレンジ

町がチャレンジ

なかいの未来を担うために

なかいの未来を託すために

なかいの未来を豊かにするために



わたしは、**なかいまっち**！ 中井町教育委員会のキャラクター。
前回の「学校のあり方通信」では、第1回検討会の様子をお伝えしました。今回は、令和8年8月25日（火）に行われた「第2回中井町学校のあり方検討会」の様子をお伝えします！
今回は、委員の皆さんが4つのグループに分かれて、模造紙と付箋を使ったワークショップに取り組みました。最後まで読んでくれたらうれしいです。

○第2回中井町学校のあり方検討会（令和8年8月25日（火）15:30～）

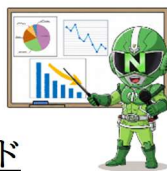
今回のテーマは、「教育に係る課題・子どもたちの伸ばしたいところは？ そのためにどんな学びや経験が必要か」でした。これまでのワークショップでは中井町の子どもたちの「よさ」を中心に話し合ってきましたが、今回は視点を変えて、課題や伸ばしたいところについて深く議論しました。

委員の皆さんは4つのグループに分かれ、模造紙に付箋を貼りながら意見を出し合いました。最後に、各グループで「大切にしたいキーワード」を話し合いでまとめ、全体発表を行いました。



今回は「**学校教育の課題**」について意見を出し合ったんだね！





各グループの模造紙の内容は
ホームページをチェック！

○各グループから発表されたキーワード

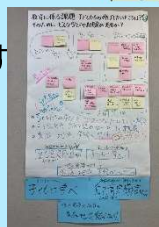
Aグループ

- ・幼・保・小・中一貫した教育パッケージ
- ・つなぐものの大切さ



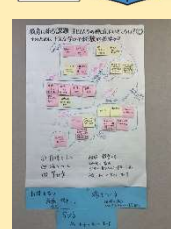
Bグループ

- ・子どもとしっかり向き合おう
子どもに学べ
- ・多様性のなかで自分を生かす
自己肯定感を高める 人の役に立つ
- ・町の資源の活用を
家庭・地域・学校のつながりで



Cグループ

- ・目標をもつ
経験・競争から学ぶ
- ・場をつくる
地域の協力・子どもが自分たちで企画運営
- ・学び方
紙・ネットのよさを生かす



Dグループ

- ・少人数のメリット・デメリット
- ・相互理解・交流の場の設定
- ・校舎老朽化
なんとかしたい！



各グループの発表を、事務局（指導主事）が次の3つの視点から整理しました。

① 人間関係と「学校に行く意味」

人間関係やコミュニケーションを学ぶことを大切にしたいという意見が多かった。子どもたちが「何のために学校へ行くのか」ということに繋がる大切な視点。

② 経験・体験と「地域に開かれた学校」

成功体験はもちろん、失敗体験も子どもにとっては重要。本物の体験を大切にしたい。そのためにも、地域に学校を開き、つながりをつくっていくことが重要。

③ 子どもを信じる・子どもに委ねる大人の姿勢

私たち大人が子どもを信じて、子どもに委ねる場をもっとつくりたいという意見もあった。子どもたちが「自分たちはやればできる」と実感できるようにしたい。

○次回の進め方について

これまでの意見を踏まえたうえで、学校教育の課題解消や中井町の子どもたちのよさを伸ばしていくために、**これから中井の学校ではどのような教育が望ましいのか。また、どのような教育が大切なのか、**という点をさらに深めていくことになりました。

○お知らせ

- ・第3回 学校のあり方検討会（傍聴可能）

日時：11月30日（月）15：30～ 場所：農村環境改善センター 研修室

次回は、さらに深めて
いくんだね！



中井町教育委員会



あり方検討会



なかい教育ビジョン

学校のあり方検討会に係る問合せ先
中井町教育委員会 教育課
Tel 0465-81-3906